

【令和3年2月14日開催 会場:仙台銀行ホールイズミティ21 小ホール】

第41回(公社)宮城県芸術協会音楽コンクール ピアノ部門 予選

中級A

予選通過者番号

3	4	6	7	11	15	16	18	20	21
25	26	27	28	29	31	33			

審査講評：小林 郁 審査員長

審査員の感想をまとめました。まず、コンクールということで緊張されたと思いますが、曲を弾く前の落ちつきがもっとあるとよいと思います。それと関連してアウフタクトの出や、フレーズの中のプレス、2曲めに行くときの間などがよければ、もっと良い演奏になったと思います。ウィンナーワルツは左右の左の役割を優雅にも大切なポイントでした。

中級B

予選通過者番号

1	6	8	9	10	11	12	15	19	22
23	25	28	29						

審査講評：小林 郁 審査員長

BもAと同様に音楽表現をする上での落ちつき、心の持ちようが大切とのお話になりました。ベートーヴェン ソナチネは練習曲のようにならないように、ショパンのワルツの伴奏リズムやペダルもうまく表現することの難しさを感じたという感想も出ました。